

題 名	令和4年度第1回あま市立学校給食センター運営委員会議事録	
日 時	令和4年6月29日(水)午後1時30分～午後3時15分	
開 催 場 所	あま市学校給食センター 2階 大会議室	
出席委員	教育委員会職務代理者	溝口 正己
	教育委員会委員	笹野 奈津子
	七宝小学校長	吉田 修啓
	美和小学校長	石原 良子
	甚目寺小学校長	田邊 孝博
	七宝中学校長	梶浦 寿男
	美和中学校長	平野 崇
	甚目寺中学校	籠島 篤司
	美和小PTA会長	森 裕次郎
	甚目寺小PTA会長	宮崎 嘉孝
	七宝中PTA会長	増田 淳士
	美和中PTA会長	松田 潤也
	甚目寺中PTA会長	石田 修吾
	保育園代表	溝口 由紀江
欠席委員	七宝小PTA会長	鬼頭 良典
事務局	教 育 長	松永 裕和
	教 育 部 長	鎌倉 崇志
	学校給食センター課長	寺澤 直樹
	学校給食センター課補佐	家田 幸治
	学校給食センター課主査	重本 猛志
	学校給食センター課主査	森本 嵩也
	学校給食センター栄養教諭	兼子 睦子
	学校給食センター栄養教諭	河橋 伸哉
	学校給食センター栄養教諭	松岡 生千花
傍 聴 人	なし	
議 題	1 委員長・副委員長の選出について	資料1
	2 令和4年度学校給食施設の概要について	資料2
	3 令和4年度事業計画について	
	1) 食に関する指導及び計画について	資料3
	2) 献立・衛生管理について	資料4
	3) 保育園給食について	資料5
	4 令和4年度食物アレルギー等対応状況について	資料6
	5 学校給食費収納状況について	資料7
	6 給食用食材費について	資料8
	7 その他	

議題

1. 委員長・副委員長の選出について

(事務局)

資料 1 にて説明

(委員)

事務局案ありますか。

(事務局)

委員長には溝口正己委員、副委員長には、吉田修啓委員を提案

(委員)

全員異議なし

2. 令和 4 年度学校給食施設の概要について

(事務局)

資料 2 にて説明

(委員)

<質疑応答なし>

3. 令和 4 年度事業計画について

1) 食に関する指導及び計画について

(事務局)

資料 3 にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

甚目寺地区は残量が特に多いように感じるが理由は。

(事務局)

甚目寺地区は市街地に近く核家族が多くみられる。また、畑が少ないため、農産物に触れる機会が少ない。

(委員)

残食量のグラフは全校に共有しているのか。

(事務局)

献立検討会の時に配っているが、各地区の共有にとどまっている。

(事務局)

全校に共有すべきである。甚目寺小は生徒数が多いが、残食はとても少ない。その理由も共有していくべき。

甚目寺で残食が多いのは、核家族が多いからではなく、マガママな児童生徒が多いからではないかを感じる。食習慣は家庭の影響が大きいと思うので、家庭の協力をしっかりしてほしい。

(事務局)

上手くいっている学校の事例を共有しつつ進めていく。

2) 献立・衛生管理について

(事務局)

資料 4 にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

セレクト給食とは。

(事務局)

12月ごろにクリスマスのケーキで実施している。例えば、生クリームケーキとチョコのケーキを児童生徒に選んでもらっている。アレルギーのことを考え、一方は乳・卵なしのものにしている。

コロナ禍の前までは年2回行っていたが、去年は1回のみ。

3) 保育園給食について

(事務局)

資料5にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

残食について、保育園だと小中学校に比べて好き嫌いも多いと思われるが、小中学校とは違う食育指導をしているか。

(事務局)

学校と同じ献立にできないときは、小骨の無い魚に変えたり、ぶどうや豆、ミニトマトは使わないことで、保育園向けにメニューを変えている。

(委員)

残食量はどうか。

(事務局)

全園の状況を献立検討会で示している。成長度が春と秋で異なっている。運動会の後は、残食量が減少していく傾向がある。

4. 令和4年度食物アレルギー等対応状況について

(事務局)

資料6にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

乳アレルギーの除去食の人数は、今まで給食が食べられなかったが食べられるようになった人数とみてよいか。

(事務局)

お見込みのとおり。月1回程度であるが、家から持ってくる等の対応なしで、乳を除去した同じメニューを食べることが出来るようになった。

(委員)

牛乳減額対応者は、七宝小13 七宝中2 となっているが、なぜか。学年の比率から、半分になるではないか。減額対応希望者に好き嫌いのものはないか。

(事務局)

年齢とともにアレルギーではなくなっていくことは考えられるが、七宝地区のみなので、好き嫌いかもしれないし、たまたまかもしれない。

5. 学校給食費収納状況について

(事務局)

資料7にて説明

<主な質疑応答>

(委員)

過年度の給食費の徴収率は。

(事務局)

把握しているが、手元に資料がないため、第2回運営委員会にて報告します。

(委員)

行政の協力は、得られないか。

(事務局)

現状は、私債権であるため他課の協力は得られていない。他市町村への住民票の追跡や催告は継続して行っている。

(委員)

宗教上、食べられない物がある場合でも同じ料金を払っているのか。

(事務局)

減額対応できるものについては、減額している。

6. 給食用食材費について

(事務局)

資料8にて説明

新型コロナにおける臨時交付金を活用するため、賄材料費の高騰への影響について、令和4年度の給食費は増額しない旨の通知

校長会、教育委員会への報告

保護者通知

<主な質疑応答>

(委員)

資料の書き方において、あま市は据置きか値上げか。

(事務局)

臨時交付金の活用をするため、保護者負担は増えないが実質の40円の値上げになる。

40円の根拠は、県の消費者物価指数であるため、値上げ幅については今後の動向を見ないとわからない。農産物については、今後、収穫の時期を迎えるため値下がるかもしれない。

(委員)

現在、食材の高騰で1食当たり40円不足しており、令和5年度は値上げせざるを得ないということか。

(事務局)

お見込みのとおり。

(委員)

保護者向け文書にはわかりやすい言葉で書いてほしい。

(事務局)

了解。

7 その他

(事務局)

・あま市学校給食運営検証委員会について、民間委託した東洋食品が調理・配送業務があま市学校給食センターの運営方針に沿った給食提供が実施されているか、また直営又は民間委託についても、検証委員会にて検証している。

・親子料理教室について、8/2(火)、8/3(水)に開催する

【閉会時刻：午後 3 時 15 分】